

企画全体の結果

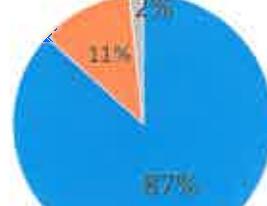
アンケート結果

アンケート回収 合計61枚

<考察>

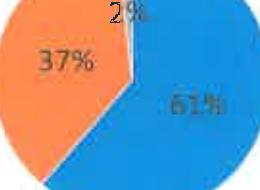
図書館を十分に見学することが出来て、その中でも図書館謎解きゲームによる満足度が高い。

2.学生スタッフによる企画はいかがでしたか



1.大学附属図書館を十分に見学できましたか。

- (ア) 出来た
- (イ) まあまあ
- (ウ) 出来なかつた



3.一番良かった企画はどれですか。

- (ア) 謎解きゲーム
- (イ) 図書館ツアー
- (ウ) 学生交流
- (エ) その他



1日目の反省と2日目への改善

1日目が終わって
すぐに反省会を行った。

① 図書館ツアーを利用する人が0人だった。



- ラミネート加工したA4の看板を作り、実際に手に持つて呼びかけた。
- 謎解きゲームのアドバイスが出来るようにした。
- 解答用紙に図書館ツアーアの宣伝を入れた。

② 請求記号から実際に本を探す問題を、その前の問題でPCを使うため、そのままPCを使い答えてしまう。そして、PCの利用が増えて行列が出来てしまっていた。

- 問題を入れ替えた。
- 学生相談の場所にノートPCを設置し、対応した。



③ 景品受け取りの場所が分かりにくかった。

- 場所を分かりやすい出入り口に変えた。

その他にも入り口が分からなかったり、食べ物の持込があった。
これらはすぐにポスターを張ることで改善された。



- 図書館の検索方法や探し方を盛り込んだ問題を作り、実際に図書館利用を体験してもらった。
- 後半の問題の難易度を高くして、楽しめるようにした。
- 同時進行の他の企画と連動させて、各企画の参加者を増やした。
- 学生スタッフが参加者に積極的に声をかけることで、図書館見学に集中してもらえた。
- 謎解きの場所が分からなくなるないように、横にヒントとして次の問題の地図を貼り付けた。

これからの企画

絵本の読み聞かせ

<企画内容>

地域の幼稚園や図書館で、1時間程度の絵本の読み聞かせを行う。

<工夫するべき点>

子供たちが本に興味を持ってもらえるようにする。

<企画理由>

大学附属図書館内だけではなく、大学生のスタッフが地域と積極的に交流し、貢献するきっかけを作るため。

これから…

これらの活動は地域の繋がりを意識した企画も行いたい。そのため、上の2つの検討段階の企画を例にした。今年や来年、再来年にかけて学内の企画はもちろんのこと、地域の人と交流を持ち、新たな活動を考えていきたい。

～地域との繋がり～

大学間交流

<企画内容>

島根県立大学松江キャンパスの図書委員の方たちと松江の図書に関する場所を回る。

<工夫するべき点>

松江の本に関する場所をめぐることで、新たな発見を促す。

<企画理由>

地域での活動をするためには地域に何があるかを知る必要がある。

そして自大学だけでは思いつかない考えを他大学の人から学ぶ。

未来